

## 1 単元名 構成や展開、表現の仕方の解説書を作ろう 「恥ずかしい話」(東京書籍2年)

### 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、二つの説明的な文章を読み比べ、「構成や展開、表現の仕方の解説書を作る」という言語活動を単元を貫いて設定した。「解説書」とは、事柄の説明に書き手の考えを交えて理解させることをねらいとした文章である。ここでは、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連を取り上げ、筆者の主張が理解しやすくなる要因を考えていく。したがって、書き手の意図との関連を考えさせて「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる」(C読むことウ)ことを実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

### 3 単元について

#### (1) 生徒観

本学級の生徒は、これまで「食の世界遺産」の学習の中で、鰹節というキーワードを基に、段落相互の関係や筆者の主張を捉え、自分考えをまとめる学習をしてきた。その結果、主張につながる重要な語句や文を適切に選び出し、書かれている内容について吟味したり、目的に応じて文章を要約したりする力が身に付いてきた。しかし、文章の構成や展開、表現の仕方について吟味したり、自分の考えをまとめたりする力は、十分に身に付いているとは言えない。

#### (2) 教材観

本単元では、題名、主張が同じであるが、構成や展開、表現の仕方が異なる二つの「恥ずかしい話」を用意する。一つは、野矢茂樹著の「恥ずかしい話」である。これは、問題提起や問いかけを多用し、読み手と一緒に考えていこうという構成になっている。もう一つは、教師自作の「恥ずかしい話」である。これは、大きな問題提起を投げかけ、三つの具体例を挙げながら論を展開していく構成になっている。これらの二つの説明的な文章を提示することにより、生徒は、構成や展開、表現の仕方に着目して二つの文章を読み比べ、書き手の意図との関連を考えていくようになると考える。以上のことから、二つの「恥ずかしい話」は、構成や展開、表現の仕方について、書き手の意図と関連させながら自分の考えをまとめるのに、ふさわしい教材であると考えられる。

#### (3) 指導観

本単元では、「構成や展開、表現の仕方の解説書を作る」という単元を貫く言語活動を設定し、3段階の学習活動を工夫する。まず、第1段階では、二つの文章のうち、筆者の主張を理解しやすい文章を図解する活動を設定し、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連に着目して読むことができるようにする。第2段階では、図解した文章の構成や展開、表現の仕方についてディスカッションする活動を通して、書き手の意図との関連を吟味し、自分の考えを広げられるようにする。第3段階では、筆者の主張を理解しやすい構成や展開、表現の仕方を挙げて、四文で書く活動を通して、書き手の意図と関連させながら自分の考えをまとめることができるようにする。このように学習活動を工夫すれば、説明的な文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力が育つであろうと考える。

### 4 単元の目標

- 二つの説明的な文章を読み比べ、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連に着目して読もうとする。(関心・意欲・態度)
- 筆者の主張が理解しやすいと考える根拠について、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連に着目し、自分の考えをまとめることができる。(読むこと)
- 抽象的な語句の辞書的な意味と、文脈上の意味との違いを理解することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの文章を読み比べ、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を、構成や展開、表現の仕方に着目して読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提起と事例、意見の構成や文末表現、語り口調に表れる表現に着目し、書き手の意図との関連を捉え、具体的な根拠を挙げながら、理解しやすい理由をまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共感」について、辞書的な意味を調べ、文脈から読み取れる意味を付け加えたり言い換えたりして、抽象的な語句の意味を理解している。</li> </ul>

## 6 単元の指導計画（6時間扱い）

次	時	主な学習活動	主な評価
一	1	<p>どちらの文章が理解しやすいか考えながら、二つの説明的な文章を読む。</p> <p>語句の意味や使われ方を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの文章のどちらが理解しやすかったか、構成や展開、表現の仕方に着目して発表しようとする。</li> <li>(関心・意欲・態度)</li> <li>語句の文脈上の意味と辞書的な意味を理解している。</li> <li>(言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>
	2 3	<p>選んだ文章を図解し、その図解を基に、筆者の主張が理解しやすい構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連に着目し、自分の考えを持っている。</li> <li>(読む能力)</li> </ul>
二	1	<p>選んだ文章が同じで着目した点が異なるメンバーで、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連について、ディスカッションする活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張が理解しやすいと考える根拠について、構成や展開、表現の仕方に着目してディスカッションしようとしている。</li> <li>(関心・意欲・態度)</li> <li>構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連を吟味し、自分の考えを広げている。</li> <li>(読む能力)</li> </ul>
	2 (本時)	<p>選んだ文章、着目した点が異なるメンバーで、構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連について、ディスカッションする活動を行う。</p>	
三	1	<p>構成や展開、表現の仕方について、書き手の意図と関連させながら、四文で自分の考えをまとめ、解説書を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成や展開、表現の仕方について書き手の意図と関連させながら、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。</li> <li>(読む能力)</li> </ul>

## 7 本時の学習

### (1) 目標

構成や展開、表現の仕方についてディスカッションする活動を通して、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠と書き手の意図との関連を吟味し、自分の考えを広げることができる。

### (2) 準備・資料

二つの説明的な文章を印刷したシート、ワークシート、付箋、模造紙、ディスカッションする活動の話型

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>筆者の主張が理解しやすいと考える根拠と、書き手の意図との関連を吟味し、自分の考えを広げよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を、グループの人に分かってもらうという目的を設定することで、根拠を提示する順番や根拠の示し方などを工夫することができるようにする。</li> </ul>
<p>2 ディスカッションの進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>野矢さんの文章について ・ 椎名さんの文章について</p> <p>構成や展開 表現の仕方</p> <p>↓</p> <p>書き手の意図との関連</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ文章や着目した点が異なる生徒でグループを作り、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を付箋に書いて模造紙に貼ることで、構成や展開、表現の仕方の共通点や相違点を様々な観点から吟味することができるようにする。</li> <li>ディスカッションするときの話型や質問の仕方を提示し、構成や展開、表現の仕方について吟味しながら話し合いを進めることができるようにする。</li> </ul>
<p>3 筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を、ディスカッションする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>野矢さんは、すぐに結論を出さずに、様々な視点から考えを述べているので理解しやすいです。</p> <p>↓</p> <p>様々な視点で述べると、なぜ、理解しやすいのですか？</p> <p>↓</p> <p>全ての事例と意見を関連付けて捉えることができるから、主張が理解しやすくなるのです。</p> <p>↓</p> <p>野矢さんは、様々な視点から読者と一緒に考える構成にすることで、説得力を高めたいと考えています。</p> </div> <div style="width: 45%; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">構成や展開、表現の仕方</p> <p>椎名さんは、断定的な表現を多用しているので、筆者の主張が理解しやすいです。</p> <p>↓</p> <p>断定的な表現のよさを、詳しく説明してください。</p> <p>↓</p> <p>事実と意見の違いがはっきりし、筆者の考えが確かなものに感じられるところです。</p> <p>↓</p> <p>椎名さんは、断定的な表現を多用することで、自分の意見の正しさを訴えたいと考えています。</p> </div> <div style="width: 45%; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">書き手の意図</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの根拠を示すごとに質疑応答をすることにより、根拠を明確にして活発に意見交換をすることができるようにする。</li> <li>自分の支持する立場が変わってもよいことを事前に伝えることで、根拠を吟味したり、自分の考えを広げたりすることができるようにする。</li> <li>模造紙には、構成や展開、表現の仕方、書き手の意図との関連、自由記述欄に分類して貼る欄を設け、話し合った内容が整理できるようにする。</li> <li>本文を貼った模造紙に線を引いたり、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠を書いた付箋を貼ったりすることにより、話し合っている内容や根拠をグループ全員が共有できるようにする。</li> <li>付箋を貼る際、分類に迷ったときには、自由記述欄に貼るように助言し、話し合いがスムーズに進むようにする。</li> </ul> <p>⑩筆者の主張が理解しやすいと考える根拠について、構成や展開、表現の仕方に着目してディスカッションしようとしている。〔関 観察、発表〕</p> <p>⑪構成や展開、表現の仕方についてディスカッションする活動を通して、筆者の主張が理解しやすいと考える根拠と書き手の意図との関連を吟味し、自分の考えを広げている。〔読 観察、ワークシート〕</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>⑫私は、野矢さんの文章が理解しやすい。それは、問かけが多く、ともに考えようという意図が伝わり、読者に考えさせる構成になっているからだ。</p> <p>⑬私は、椎名さんの文章が理解しやすい。それは、断定的な表現を多用していて、事実と意見の書き分けがはっきりする表現の仕方なので、筆者の主張が捉えやすいからだ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションすることで吟味した根拠を基に、筆者の主張が理解しやすいと考える文章を、再度選ぶようにする。また、根拠を振り返る場を設定することで新たに気付いたことを明確に捉え、自分の考えを広げることができるようにする。</li> <li>次時は、ディスカッションする活動で吟味した根拠を生かしながら、構成や展開、表現の仕方について書き手の意図と関連させながら、自分の考えをまとめる学習を行うことを予告し、学習の見通しが持てるようにする。</li> </ul>

## 恥ずかしい話（自作資料）

椎名 丘

① 恥ずかしい思いをして平気な人は、私の周りにはいない。きつと、みなさんの周りにもそんな人はいないだろう。できれば、そんな恥ずかしい思いは、したくないものだ。そもそも、恥ずかしいという感情の多くはすぐに忘れてしまうものだが、それでも抵抗を感じる人は多いはずだ。私もその一人である。

② 恥ずかしいと思うことは、人間においてはよくあることだが、他の動物が恥じらう様子を私は観察したことがない。皆さんも、他の動物が恥じらう様子を観察したことがある人はいないはずだ。それは、人間以外に恥ずかしいという感情を持つ動物は、いないからだ。人間特有の感情だと言えるだろう。

③ 恥ずかしい思いをするのは人間だけだが、人によっては、恥ずかしいと思う感情を持つ人と持たない人がいる。例えば、電車の中でお年寄り優先席に座ることを恥ずかしいと思う人もいれば、恥ずかしくないと思う人がいる。社会的な常識のない不届き者は、恥ずかしいと思わないだろうが、常識のある人は恥ずかしいと感じる。

④ では、恥ずかしいという感情は、どのようにして生じるのだろうか。この問題を、次の三つのパターンを例にして、みなさんと考えていきたい。一つ目は、自分自身が自分の失敗に気付くことで、恥ずかしい感情が生じるパターンである。二つ目は、他者に自分の失敗が気付かれることで、恥ずかしい感情が生じるパターンだ。三つ目は、自分と他者が同時に失敗に気付くことで恥ずかしい感情が生じるパターンである。

⑤ まず、一つ目は、自分自身が自分の失敗に気付くことで、恥ずかしいという感情が生じるパターンを見ていこう。

⑥ 中学生や高校生が部活動壮行会などでメンバー紹介を行う際、ついいつもの呼び方で「○○ちゃん。」という呼び方で呼ぶ。五十歳を過ぎた大人が自分の父親のことを「父が」と言う場面で、普段呼んでいるとおりに「パパが」などと言ったりするなどの場面が考えられる。人前ではあまり見せるべきではないと考えられていることを、周囲の人に知られてしまうという失敗、これは恥ずかしいものだ。

⑦ 天気の良い昼下がりが、がんばろうとする気持ちはあるのだが、授業中についつい居眠りをしてよだれを垂らしてしまう。勢いよく座ったら、ズボンのおしりの部分が破れてしまうなどの場面が考えられる。自分の行動をコントロールすることができずに失敗した場合も、恥ずかしいものである。

⑧ 仲間と昼食をとっているときに、食べ物を食べこぼす、コンビニの前で小銭をばらまく、廊下でつまずいて転ぶなど、みんなができて当たり前行動ができなかったときに、起こった失敗はどうだろう。これも恥ずかしいはずだ。みんなができていることを自分だけできないときに、人は恥ずかしいと思うのだ。

⑨ では、テストで良い点数がとれなかったという場合を考えてみよう。これは「悔しい」という気持ちと似ている。悔しいという感情は、人が見ていようとしまいと、関係なくわき起こる。テストの点数が良くない場合、悔しいけれども恥ずかしくはない。では、何がどうなると恥ずかしいという感情に変わるのか。それは、良くない点数を誰かに見られてしまい、からかわれたときだ。テストの点数が悪くても、人に知られたりからかわれたりしなければ、悔しいけれども恥ずかしくはない。このように考えると、恥ずかしいという感情は、自分自身の中だけにあるわけではなく、他者との関わりに関係があることが分かる。

⑩ そこで、次に、他者が自分の失敗に気付くことで、恥ずかしいという感情が生じるパターンを見ていくことにする。

⑪ 友だちに、うる覚えだった知識を披露したら事実と違うと指摘されて、鼻で笑われた。大勢の人の前で自分の失敗を責められたなどの場面だ。他者から否定的な見方で自分の失敗を見られたときは、恥ずかしいと感じるのだ。

⑫割引を受けるために、ファミリールレストランで自分の誕生日が今日であることを店員に告げた。すると、店員全員が自分の席に集まってきて「ハッピーバースデー」の歌を大きな声で歌ってくれた。これは、肯定的な見方で見られている。でも、恥ずかしい。なぜか。それは、他者の行動により予想外に自分が目立ってしまったからだ。当事者以外の人から好奇の目で見られていいるからと言ってもいいだろう。自分を肯定的に見てくれているのに恥ずかしいと感ずるのは、不思議な感じがするかもしれない。これは、周囲の人に共感的に見てもらえていないと感ずることと関係するのだ。

⑬よく似た感情に「照れくさい」がある。「照れくさい」と「恥ずかしい」を区別して使っている人は少ない。それは、明確に区別することが難しいからだ。照れくさいというのは、何となく分かる気がするのに、うまく言葉では説明できない、何とも不思議な感情のように思える。そこで、「恥ずかしい」と「照れくさい」を比較することによって「恥ずかしい」という感情を浮き彫りにしていくことにする。

⑭「照れくさい」感情を持つ人は、目立つのが好きではない、いわゆる引っ込み思案の人が多い。何かに失敗したから「照れくさい」と感ずるわけではないようだ。目立つのが好きな人が、さほど「照れくさい」感情は持ち合わせていないことから、その人の感受性が影響していることが分かる。一方、「恥ずかしい」感情には、さほど感受性は影響しない。何が影響するかというと、失敗したかどうかということだ。失敗していなければ恥ずかしいとは思わない。先ほど述べたファミリールレストランの例は、自分だけを目立たせる行為だから「照れくさい」感情だけのはずだが、大切なことを忘れている。それは、自分だけ目立ってしまったって、周囲からは共感を持って受け入れられていないかもしれないと感ずることだ。つまり、自分の予想に反している行動をとられた時点で、自分が誕生日であることを発言したこと自体が失敗しているのだ。

⑮最後の三つ目は、自分と他者が同時に失敗に気付くことで恥ずかしい感情が生じるパターンである。

⑯鼻歌交じりで気持ちよく歌を歌いながら、誰もいないと思って部屋に入っていたら、誰かが部屋にいて自分の歌を聞かれてしまい、笑われてしまった。文化祭の開会式で、全校生徒の代表として挨拶をしているときに、ズボンのチャックが開いていることを指摘され、会場中が笑いに包まれてしまった。長ズボンを脱いで半ズボンになった時、左右の靴下の色が違うことに気付く、同時に、友だちから指摘され、からかわれてしまった。これは、自分で失敗したと理解した瞬間に、その失敗が同時に他者にも気付かれている。これは、他者から共感を得られるとは思えない状況下での失敗である。最も恥ずかしいパターンと言っても過言ではないだろう。

⑰このように考えると、「恥ずかしい」という感情は、目立っている・注目されているという意識と、しかしそれは周囲から共感をもって受け入れられてはいないという意識が合わさった時に生じる感情であるということが分かる。何かの失敗をしたときに、自分でその失敗に気付く、他者に気付かれる、自分と他者が同時に気付く、いずれの場合も恥ずかしい感情が生じるのである。

⑱ここまで考えれば、人はどういうときに「恥ずかしい」と思うのか、もうご理解いただけただろう。この考え方はまた、「恥ずかしい」という感情は人間的だ。」ということも説明してくれる。「こうあるべきだ。」という自分の中の理想があって、何かの失敗でその理想が崩れるからこそ、恥ずかしいと感ずるのである。理想を持って生きていけるのは人間だけである。その意味で、恥ずかしいという感情も、人間的な感情と言えるのだ。

⑲あなたのこれからの人生で恥ずかしい思いをしたときには、私の考えを思い出してほしい。自分の感情をコントロールするのに、私の考えは、あなたの人生にとって大いに役に立つと確信している。

恥ずかしい話 四文でまとめる手引き

組 番

筆者の主張が理解しやすい構成や展開、表現の仕方を、四文でまとめよう。

(手引き) ※ ( ) にあてはまる言葉を考えよう。

※ 一は、どちらか一方の文を書こう。

一	筆者は、( ) (の後(前)に) ( )を示している。(書いている)。 筆者は、( ) ( )を多用している。
二	例えば、( ) ( )。
三	これは筆者が、( ) ( )と考えたから、このように書いたのだろう。
四	私は、( ) ( )と考える。



◎ ( ) ( )にどんなことを書くか？

一	構成や展開に着目した場合↓「問題提起」、「具体例」、「結論」など(文章を大きく捉えた言葉)を書く。 表現の仕方に着目した場合↓「問いかけ」、「断定的な表現」、「文末表現」、「接続語」、「指示語」、「順序を表す言葉」など(一般的な言葉に置き換えて)書く。
二	本文の言葉を使いながら書く。
三	書き手の意図との関連(なぜ、筆者はどのように書いたのか。)を書く。
四	筆者の主張が理解しやすい構成や展開、表現の仕方と書き手の意図との関連について、自分の考えを書く。